

1

言語

ことばの学習(1)
漢字の形と音

名前

年

組

番

／ 11 問

1 次の漢字のグループから、共通した部分をぬき出し、その音読みを書きましよう。

〈例〉化・花・貨 化 ↓ (か)

① 長・帳・張



(か)

② 清・静・精



()

③ 飯・版・板



()

④ 固・湖・故



()

⑤ 則・側・測



()

2 共通した部分を持つ同音の漢字のうち、正しいほうを選んで、○で囲みましょう。

〈例〉チョウの (票・**標**) 本を作る。

① (組・祖) 父にほめられる。

② すもうの土 (表・俵)。

③ (波・破) 乱の人生を送る。

④ (建・健) 康に気をつける。

⑤ (適・敵) 当なことを言う。

⑥ 郷 (里・理) に帰る。

2

言語

ことばの学習(2)

漢字の読み方

名前

年

組

番

／ 13問

1 線の漢字の読みを書きましょう。

① 幕府を開く。

② オリンピックが開幕する。

③ 再来週に出かける。

④ 友人と再会する。

⑤ 武者ぶるいする。

⑥ 武士の世。

⑦ 大きな規模の大会。

⑧ 模様をえがく。

2 次の二つの□に当てはまる、読み方のちがう同じ漢字を書きましょう。

〈例〉同じ時間・同じ人間

① 合 □ をする・ □ 書館の本

② 長い □ 線・正 □ な人

③ 決 □ する・三角 □ 規

④ 名 □ のだんご・荷 □ を持つ

⑤ □ 年の夏・過 □ のでぎこと

3

言語

ことばの学習(3)
言葉の意味

名 前

年

組

番

／ 13 問

1 次の言葉の意味を後から選んで、記号で答えましょう。

① 軽い

- 1 この問題を解くのは、軽い、軽い。()
2 軽いかばんを持ち歩く。()
3 軽い病気で、すぐ治った。()
4 軽い気持ちで引き受ける。()
ア 気楽である。 イ 重量が少ない。
ウ たやすいことだ。 エ あまりひどくない。

② 見る

- 1 飼い主の留守中にペットを見る仕事。()
2 毎朝、食事前に新聞を見る。()
3 あなたはこの問題をどう見る? ()
4 山の上から自分の町を見る。()
ア 考える。 イ ながめる。
ウ 世話をする。 エ 読む。

2 次の () には、それぞれ同じ言葉が入ります。□ から選んで書き入れましょう。

- ① 川が () 。 月日が () 。
② 波の音を () 。 人に道を () 。
③ はさみで () 。 言葉を () 。
④ 計算が () 。 気が () 。
⑤ つなを () 。 線を () 。

切る 引く 流れる 聞く 合う

4

言語

ことばの学習(4)

反対の意味の言葉

名前

年

組

番

／ 17 問

1 次の言葉と反対の意味になる言葉を書きましよう。

〔例〕窓を開ける。 ↔ ドアを閉める。

① 夜おそくねる。 ↔ 朝早く

② 約束を破る。 ↔ 約束を

③ 寒い一日だった。 ↔ 一日だった。

④ 話し手はきちんと伝える。 ↔ は耳をかたむける。

⑤ 先祖のことを考える。 ↔ のことを考える。

2 次の言葉と反対の意味の言葉になるように、□に漢字を書き入れましよう。

① 支店 ↔ 店

③ 和食 ↔ 食

⑤ 悪評 ↔ 評

⑦ 点火 ↔ 火

⑨ 楽観 ↔ 観

⑪ 増加 ↔ 少

② 直接 ↔ 接

④ 肉食 ↔ 食

⑥ 入場 ↔ 場

⑧ 不作 ↔ 作

⑩ 反対 ↔ 成

⑫ 貿易赤字 ↔ 貿易字

5

言語

ことばの学習(5)
同じ読み方の熟語

名前

年

組

番

／ 17 問

1 次の熟語を後から選んで、書き入れましょう。

① 子どもが

たいしょう

の服を買う。

②

たいしょう

的な二人。

対照 対象

③ 歯をみがく

しゅうかん

がある。

④

しゅうかん

の予定。

⑤

誌を読む。

週間 習慣 週刊

2 次の熟語を、それぞれ書き分けましょう。

①

こうか

な商品。

③

きこう

の土地。

②

こうか

的な表現。

④

きこう

文を書く。

⑤

せいかく

に伝える。

⑦

じてん

で調べる。

⑥

せいかく

。

⑧

じてん

を見る。

⑨

きかい

体操の選手。

⑪

さいしゅう

的な結論。

⑩

友達に会う

きかい

をする。

⑫

こんちゅう

さいしゅう

6

言語

ことばの学習(6)

送りがな

名 前

年

組

番

／ 17 問

1 線の漢字の読みを書きましょう。

① 細い糸でぬう。

② 細かい砂すなをつめる。

③ 夜を明あかす。

④ 明るい光の筋すじ。

⑤ 明らかな原因がある。

2 送りがなの正しいものをそれぞれ選んで、☐で囲みましょう。

① 育る・育てる・育だてる

② 少い・少ない・少くない

③ 改る・改める・改ためる

④ 全く・全たく・全ったく

⑤ 喜ぶ・喜こぶ・喜ろこぶ

⑥ 加る・加える・加わえる

⑦ 快い・快よい・快ろよい

⑧ 悲い・悲しい・悲なしい

3 次の漢字に送りがなを付けましょう。

① おわる ↓ 終

② あたらしい ↓ 新

③ つめたい ↓ 冷

④ あぶない ↓ 危

7

言語

ことばの学習(7)

名前

年

組

番

／ 15 問

1 次の意味のことわざを後から選んで、記号で答えましょう。

- ① 指図する人が多いと、ものごとが見当ちがいの方向に進むこと。 ()
② 遠回りで、効果がないこと。 ()
③ よいと思ったら、すぐにとりかかるのがよいこと。 ()
④ わずかなものも、積み重なれば大きなものになること。 ()
⑤ 大きな仕事も、手近なところから始まること。 ()
⑥ 何人かで集まって相談すると、よいちえが生まれるということ。 ()
⑦ 心配するより、やってみるとうまくいくものだということ。 ()

ア ちりも積もれば山となる イ 千里の道も一歩から
ウ 善^{ぜん}は急げ エ 案ずるより産むが易^{やす}し
オ 船頭多くして船山^{ふねやま}を上^{のぼ}る カ 二階から目薬
キ 三人寄れば文殊^{もんじゆ}のちえ

2 次のことわざと同じような意味のことわざを後から選んで、記号で答えましょう。

- ① あぶはち取らず
② ぶたに真珠^{しんじゆ}
③ 泣きつらにはち
④ のれんに腕押^{うでお}し
⑤ 果報は寝^ねて待て
⑥ さるも木から落ちる
⑦ せいてはことを仕損じる
⑧ 念には念を入れよ

ア ねこに小判 イ 弘法^{こうぼう}にも筆^{あやま}の誤り
ウ 急がば回れ エ 弱り目にたたり目
オ 豆腐^{とうふ}にかすがい カ 石橋^{いしはし}をたたいてわたる
キ 待てば海路^{ひより}の日和あり ク 二兎^{にと}を追うものは一兎をも得ず

8

言語

ことばの学習(8)
四字の熟語

名 前

年 組 番

／ 13 問

1 次の四字の熟語の意味に合うものを、——で結びましょう。

- ① 無我夢中 むがむちゅう ・
 ② 異口同音 いくどうおん ・
 ③ 誠心誠意 せいしんせい ・
 ④ 臨機応変 りんきおうへん ・
 ⑤ 公明正大 こうめいせいだい ・
 ⑥ 一石二鳥 いっせきにちよう ・
 ⑦ 油断大敵 ゆだんたいてき ・
 ⑧ 我田引水 がでんいんすい ・
- ・ いつわりのない、ほんとうの心。
 ・ その場の変化に合った適切な処置 しよち をすること。
 ・ やましいところがなく堂々としていること。
 ・ ものごとに心をうばわれ、我 われ を忘れる わす こと。
 ・ 気をぬくことなく用心せよということ。
 ・ みんなが同じことを言うこと。
 ・ 自分に有利なように言ったりしたりすること。
 ・ 一つのことをして二つの利益を得ること。

2 次の意味の四字の熟語になるように、□□に漢字を書き入れましょう。

① 予想がすべて当たること。

ひゃっぱつ

百中

② よいところも悪いところもあること。

いっちよう

一短

③ あれこれ言わずに、実行すること。

ふげん

実行

④ だれにでもいい顔をしてつき合うこと。

はっぽう

美人

⑤ 少しのちがいがあっても、ほとんど同じということ。

だйдōう

小異 しょうい

9

言語

ことばの学習(9)

同じ訓を持つ漢字

名前

年組番

／ 19問

1 次の文中の（ ）の漢字のうち、正しい方を○で囲みましょう。

- ① 先生に、手を（上・挙）げて質問する。
② 荷物をあみだなに（上・挙）げる。
③ 店で、自分に（合・会）う服を探^{さが}す。
④ 駅でたまたま友人に（合・会）う。
⑤ そうじ当番を（代・変）わってもらう。
⑥ 信号が赤から青に（代・変）わる。
⑦ 観光地をおとずれる人が後を（立・建・絶）たない。
⑧ みんなの前に（立・建・絶）って話をする。
⑨ 街の中心地に大きなビルが（立・建・絶）つ。

2 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

- ① 夜中に目^めが ^さめる。
② コーヒーが ^さめる。
③ 人のために骨^{ほね}を ^おる。
④ 布^ぬを ^おる。
⑤ お年寄りに席^{せき}を ^あける。
⑥ 夜が ^あける。
⑦ 重いとびらを ^あける。
⑧ いおふろに入^いる。
⑨ ^あつ い本^{ほん}を読^よむ。
⑩ 毎日 ^あつ い日^ひが続^つく。

10

言語

ことばの学習(10)
漢字の使い方

名 前

年

組

番

／ 13 問

1 次の文中の（ ）の漢字のうち、正しい方を○で囲みましょう。

- ① （動・働）物の世話をする。
- ② 放（果・課）後、友人の家に遊びに行く。
- ③ 旅行をした人の（記・紀）行文を読む。
- ④ 兄は正（義・議）感が強い。
- ⑤ ビルの（官・管）理会社に電話をする。
- ⑥ 知人の家を訪（ほう）門・問（ ）する。
- ⑦ 気（求・球・救）に乗って空を飛ぶ。
- ⑧ 店までの道を往（復・複・腹）する。

2 次の文から、まちがった使い方をしている漢字を書きぬき、正しい漢字を書きましよう。

- ① 道をわたる時は、車に柱意する。

↓

- ② 各国の取都を覚える。

↓

- ③ 地元の人が共力して川をきれいにする。

↓

- ④ それぞれの人の固性が出た文章を読む。

↓

- ⑤ 遊園地の入場量をはらう。

↓

11

言語

ことばの学習(11)

類義語

名前

年

組

番

／ 17 問

1 次の言葉と同じような意味の言葉を、から選んで、記号で答えましょう。

①	案外	()	②	安全	()	③	健康	()
④	利用	()	⑤	天然	()	⑥	単調	()
⑦	美点	()	⑧	事情	()	⑨	快活	()
⑩	技量	()	⑪	不在	()	⑫	残念	()

ア	留守	イ	自然	ウ	無念	エ	能力	オ	健全
カ	無事	キ	平板	ク	理由	ケ	意外	コ	活用
サ	長所	シ	活発						

2 ——— の言葉と同じような意味の言葉を、に漢字一字を入れて完成させましょう。

① 遠足の用意をする。 ↓ 遠足の準 をする。

② 体の具合が悪そうだ。 ↓ 体の 子が悪そうだ。

③ 全体の組み立てを考える。 ↓ 全体の 成を考える。

④ 簡単にかんたんに解ける問題。 ↓ 容 に解ける問題。

⑤ よい方法がある。 ↓ よい 段がある。

12

言語

ことばの学習(12)

慣用句

名前

年

組

番

／ 15 問

1 □に当てはまる漢字を、□から選んで書き入れ、下の意味を持つ慣用句を完成させましょう。

①

が高い…自まんである。

②

が出る…費用がかかって、お金が足りなくなる。

③

が重い…言葉数が少ない。

④

を焼く…持て余す。取りあつかいに困る。

⑤

が痛い…言われたことが、自分の弱点についているので、つらい。

手 足 目 鼻 口 耳

2 次の慣用句の意味に合うものを□から選んで、記号で答えましょう。

①

油を売る

くちぐるま

()

② さじを投げる

()

③

口車に乗る

()

④ かぶとをぬぐ

()

⑤

ねた子を起こす

()

⑥ お茶をにごす

()

⑦

えりを正す

()

⑧ とりつく島もない

()

⑨

大ぶろしきを広げる

()

⑩ 木で鼻をくくる

()

ア うまいことを言われて、だまされること。 イ 降参こうさんすること。

ウ いいかげんにごまかすこと。 エ 心をひきしめてまじめになること。

オ むだ話をして、時間をつぶすこと。 カ ひどく冷たい態度で接すること。

キ すんだことを、また問題にすること。 ク 近寄りようがない様子。

ケ 方法がなく、あきらめること。 コ できもしないことを話すこと。

13

言語

ことばの学習(13)
熟語の成り立ち

名前

年

組

番

／ 14 問

1 次の①～④の成り立ちの熟語を、から二つずつ選んで書き入れましょう。

① 「左右」のように、意味が反対になる漢字の組み合わせ。

② 「道路」のように、似た意味の漢字の組み合わせ。

③ 「高山」のように、上の漢字が下の漢字を修飾するもの。

④ 「登山」のように、「―を」「―に」の意味に当たる漢字が下にくるもの。

変化

天地

入室

急流

習字

温水

開閉

豊富

2 次の漢字と意味が反対になる漢字を書き入れて、二字の熟語を作りましょう。

① 進

②

始

③ 前

3 次の熟語と成り立ちが同じ熟語をそれぞれ選んで、で囲みましょう。

① 衣服

(

寒波

全身

発声

製造

善悪

)

② 読書

(

進出

乗車

長短

大木

船旅

)

③ 外国

(

南風

作文

絵画

入学

増減

)

14

言語

ことばの学習(14)
特別な読み方の漢字・かなのも
とになった漢字

名前

年

組

番

/ 20 問

1 線の漢字の読みを書きましょう。

① 明日は七夕のお祭りだ。

② 昨日は大雨が降った。

③ 今朝はねぼうをした。

④ 真っ赤な顔をしている。

⑤ 駅で迷子になる。

⑥ 四月一日に登校する。

⑦ 時計を合わせる。

⑧ 上手に絵をかく。

⑨ 果物を食べる。

⑩ 八百屋でトマトを買う。

2 ひらがなは漢字をくずして書くことから、かたかなは漢字の一部をとって書く

ことから生まれました。次のひらがなやかたかなのもとになった漢字を、から選んで書き入れましょう。

① ↓ ふ

② ↓ わ

③ ↓ あ

④ ↓ れ

⑤ ↓ は

⑥ ↓ カ

⑦ ↓ タ

⑧ ↓ ウ

⑨ ↓ ヒ

⑩ ↓ リ

安 礼 不 波 和 比 宇 加 利 多

15

言語

ことばの学習(15)

文末の言い方

名前
年組番

／ 10問

1 次の——のうち、より強く確信している言い方に、それぞれ○を付けましょう。

① () ()
() () この足あとはねこのものだ。

() () この足あとはねこのものらしい。

② () ()
() () 今日は雨が降るかもしれない。

() () 今日は雨が降るにちがいない。

③ () ()
() () 明日は晴れるはずだ。

() () 明日は晴れるだろう。

2 次の——のうち、人から聞いた言い方に、それぞれ○を付けましょう。

① () ()
() () この川には魚がたくさんいるようだ。

() () この川には魚がたくさんいるということだ。

② () ()
() () この川には魚はあまりいないそうだ。

() () この川には魚はあまりいないようだ。

3 次の——の言い方を、正しい言い方に直して書きましょう。

① あなたは、けっして悪い。

② どうかそこにおすわりなさい。

③ 三時にはケーキが食べる。

④ 明日のテストで、まさか0点はとらない。

⑤ 君はどうしてあの山に登る。

16

言語

ことばの学習(16)

接続語

名前

年

組

番

／9問

1 () に当てはまる言葉を、から選んで書き入れましょう。

① 雨が降りそうだ。()、かさを持って来た。

② もう意見はありませんか。()、決を採ります。

③ 犬が私のことを見た。()、しっぽをふった。

④ ぼくはカレーが好きだ。()、今はあまり食べたくない。

⑤ 私は図書館によく行く。()、本が大好きだからだ。

でも では だから なぜなら そして

2 次のうち、前の内容とは逆の内容が後に来ているものに、それぞれ○を付けましょう。

① () 今朝は天気がよかった。ところが、夕方からどしゃ降りになった。

() 今朝はくもっていた。そのうえ、夜から雪も降った。

② () 練習をたくさんした。それで、ピアノが上手になった。

() 練習をたくさんした。けれども、ピアノは上手にならなかった。

3 次のうち、前の内容が原因や理由で、後の内容がその結果になっているものに、それぞれ○を付けましょう。

① () まず薬屋さんに行きます。それから、八百屋さんに行きます。

() 家に教科書を忘れました。そこで、走って家にもどりました。

② () 今日はいい天気です。だから、公園まで散歩に行きます。

() 明日は海で泳げます。または、山に登れます。

18

言語

ことばのおさらい
反対の意味の言葉 三字の熟語
同音異字

名前

年

組

番

／17問

1 次の——線の言葉と反対の意味の言葉を、□の漢字を組み合わせさせて書きましょう。

① この先は危険な場所だ。

② 川田^{かわだ}さんの意見に反対する。

③ 元気なので安心した。

④ 運動を楽しむ人が増加した。

⑤ 交通が不便な所。

2 次の三字熟語の構成をあとから選び、記号を答えましょう。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① 衣食住 | () | ② 親孝行 | () |
| ③ 貴重品 | () | ④ 街路樹 | () |
| ⑤ 再発行 | () | ⑥ 市町村 | () |

ア 一字の語＋二字熟語 イ 二字熟語＋一字の語
ウ 一字の後が三つならぶ

3 次の□に、次の音読みをもつ漢字を書きましょう。

・そう… ① ピアノ協 □ 曲。 ② 包 □ 紙。 ③ 高 □ ビル。

・せん… ④ 温 □ に入る。 ⑤ □ 門家。 ⑥ 朝の □ 顔。

配 少 便 減 安
賛 全 成 利 心

19

言語

ことばのおさらい
同訓異字 ことわざ 部首

名前

年 組 番

／13問

1 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

② 問題を □とく。	① 教えを □とく。
④ 税金を □おさめる。	③ 領地を □おさめる。
⑥ □あつ 友情。	⑤ □あつ 本。

2 次の①②③のことわざの意味をあとから選び、番号を書きましよう。

- ① ー 情けは人のためならず
- 1 情けをかけるのは人のためだけでなく、自分のためにもなる。
- 2 情けはその人のためにはならないから、かけないほうがよい。
- 3 情けはその人ばかりでなく、世の中の人のためになる。
- ② ー 好きこそものの上手なれ
- 1 いろいろやってみると、何か一つは上手になるものだ。
- 2 きらいなことでも続けているうちに上手になり、好きにもなる。
- 3 自分の好きなことは熱心にやるから、上手になるのも早い。
- ③ ー ねこの手も借りたい
- 1 ねこと遊ぶほど、とてもひまなこと。
- 2 いそがしくて、人手が足りないこと。
- 3 時には、気分を変える必要があること。

3 次の□に、次の部首をもつ漢字を書きましよう。

② □たん 生日のプレゼント。	① 友の家を □たずねる。
④ □し を買う。	③ □あやま った字を書く。

・ごんべん

20

言語

ことばのおさらい
慣用句 四字の熟語 形の似ている漢字

名前 年組番

／14問

1 次の——線の言葉が正しく使われているものに、○を付けましょう。

① () あの人には口がかたいから、よく歯医者に通っている。
() 姉は口がかたいからいつもご飯を少ししか食べない。
() あの方は口がかたいから信用できる。

② () そんな高級品はわたしには手が届かない。
() ねぼうしたので、約束の時間に手が届かない。
() この計算問題はぼくには手が届かないほど難しい。

③ () うでによりをかけると、料理はとてもはやく完成する。
() お母さんがうでによりをかけた料理だからおいしいよ。
() うでによりをかけて勉強したから満点だった。

2 次の□に漢字を当てはめて、四字熟語を完成させましょう。

① あの方の公明正 □ なたがらは、見習いたいものだ。

② 入賞の知らせを聞いても、最初は半信半 □ だった。

③ ばんおどりが始まると、人々は三々 □ 々集まってきた。

④ 全員が、異 □ 同音にお礼の言葉を言う。

⑤ 母は、電気の節約は家計にも地球にもやさしく、一石二 □ だと言う。

3 次の□に合う、形の似ている漢字を書きましょう。

① 歌の作 □ し。

② □ し 会者。

③ 銀河 □ けい。

④ 給食の □ かかり。

⑤ 月 □ しゃ をはらう。

⑥ 矢を □ い る。